

## IV 事業概要

### 1 学芸事業

#### 【1 展示関係】

#### (5) 新展示

##### ① 逆遠近錯視図形

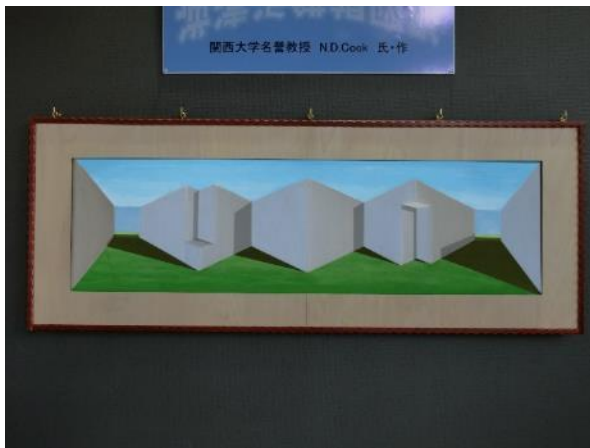
目的 錯視図形のもつ面白さ、不思議さを紹介するとともに、科学する心の高揚を図ることを目的とする。

展示場所 スリーエム仙台市科学館 3階展示室（エームズの部屋北側壁面）

#### 内 容

##### ・逆遠近錯視図形展示（2点）

逆遠近錯視図形とは、手前にあるべきものが凹部分に、奥にあるべきものが凸部分に描かれた立体の図形である。観察者は凹部分に描かれたものを凸に、凸部分に描かれたものを凹に知覚する。本展示物は、3次元キャンバス上に様々な絵画的奥行き手がかりを含んでいる「現実的な」場面を描くことによって作られている。錯視を作り出すひみつは、キャンバスに描かれた絵画の奥行きと、3次元キャンバスの構造の矛盾にある。人は、幼児期より絵画的奥行きの手がかり含んだ2次元風景を3次元構造と見なすよう訓練されている。その情報と異なる実際の奥行きによって、展示物の凹凸と、自身の見え方に違いが生じる。



逆遠近錯視図形



設置の様子